

ふりがな 氏名	しみず さいか	都道府県	埼玉県	
	清水 彩香			
所属/肩書	国土防災技術株式会社 コミュニティ防災課			
関心・活動のSDGs	  			
私のESD活動	国内外での環境教育や、地域の防災意識向上への取組を通じた、地域コミュニティの活性化やまちづくり			

## 活動の概要

国内外での環境教育の活動としてあげられるのは、環境省生物多様性センターでの勤務経験及びベトナムの新規国立公園での青年海外協力隊(環境教隊員)としての活動です。生物多様性センターでは、自然環境保全基礎調査結果や国立公園 GIS データ等の管理・提供、また生物多様性に関する展示施設の案内や、地元の小・中学生を対象とした生物多様性についての講座、「生物多様性まつり」という夏休みイベントの企画・実施を担当していました。その後の青年海外協力隊での活動は、前記センターでの活動を活かし、新設された国立公園のビジターセンターの管理・運営方法や、ビジターセンターで提供できる小・中・高・大学生・一般、それぞれを対象とした環境教育プログラムを、現地職員とともに考え、実施してきました。

また、現職での業務として、全国の様々な特色をもつ地域において、その地域の自然災害のリスクを伝えるとともに、その自然災害に対し地域資源を活かした防災の取組を住民の方と考え実施しています。また、その取り組みを継続することがコミュニティの活性化につながるような工夫や展開についても試行錯誤しています。さらに、多種多様な分野にまたがる災害ボランティアと呼ばれる方々の連携の仕組みを考えたりもしています。

一見、関係ないように思われる環境と防災に関わる活動ですが、一貫して自然環境と共存する人の暮らしを考え、その地域に暮らす人と活動し続けています。

## 私が考える教育の未来像

環境・防災教育活動に携わるなかで、地域活動には学生の力が必要であり、また、学生は地域活動に参加することで、身近な現実にある問題を、各教科で学んだ知識を結びつけ解決するという経験ができ、相互にとってよい影響があると実感しています。そこで、地域の課題に、学生が長期的に取り組むことができる仕組みができるとよいと考えています。1回きりの地域での活動や1年間と期限を設定した校外活動ではなく、複数年継続して地域の課題に取り組む続けることで、地域での自分の責任を自覚し、どのようにその責任を果たすのかを試行錯誤することができます。このように自分の知識を、他者のために活かす経験ができる教育が必要と考えます。

## 私の強み、活かせる経験やスキル

大学在学中から自然環境と、そこで生活する人々の暮らしに関心があり、国内外での環境教育活動を行ってきました。また、人と自然が共存していくためには自然がもたらす恩恵だけでなく、その危険について知り、身を守る術を身に付けることが重要と考え現職に至ります。自然環境のもたらす恵みと危険性の両面に関わる中で得てきた知識・経験は、他の参加者と連携する際に活かせると考えます。また、環境・防災教育と教育に関わってきたことから、相手とともに物事を考え、計画を立て実行し、行き詰った時には、その原因を一緒に考え乗り越えるという経験を積んできました。この経験は他の参加者と協働する際に強みとなると考えます。